

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
ホスピタリティ経営と顧客価値の創造			必修	2	1	後期（集中）
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
田村 正人 他		B308	masato.tamura		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要		（目的）本科目では、学生がホスピタリティ産業における経営戦略と顧客価値の創造について体験的に学び理科を深めることを目的とする。 （概要）国内外でグローバルに事業展開をしている企業で観光・開発事業に携わる実務家を講師に迎え、顧客満足とブランド価値の創造に必要な視点を養い実践的な経営知識を身につけられるよう授業を行う。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☒ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习)	☒ 講義 ☐ 実習	☒ 演習 ☐ 実技	☒ PBL ☒ グループワーク ☐ その他（	☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク
学習上の助言		授業に関連する社会的な動向等についてニュースや新聞等を日ごろから目を通すことが望ましい。				
教科書		なし				
参考書		なし				
外部教材		なし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会人として必要な視点、考え方を理解し説明できる。				HSU(5)、HS(4)	
②	会社を経営することの基礎的な知識を理解し説明できる。				HSU(6)、HS(3)	
③	経営についてホスピタリティの視点から考察し説明できる。				HSU(1)、HS(1)	
④	顧客の満足について、基礎的な知識を理解し説明できる。				HSU(3)、HS(1)	
⑤	ホスピタリティ経営について学んだ成果を発表することができる。				HSU(4)、HS(6)	
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等			授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	オリエンテーション 富士急グループとは、授業の進め方、成績評価等について		9月5日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	シラバス内容を把握する	2
2	富士急グループについて学習する。		10月31日（金） [担当] 田村正人 [講師] 古屋善正	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
3	会社の経営1（お金）について学習する。		10月31日（金） [担当] 田村正人 [講師] 羽田亮太	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
4	会社の経営2（法令遵守・安全）について学習する。		10月31日（金） [担当] 田村正人 [講師] 岩崎涼	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
5	会社の経営3（企画・宣伝広告）について学習する。		11月14日（金） [担当] 田村正人 [講師] 早川次郎	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
6	社会人に必要なものと考え方について学習する。		11月14日（金） [担当] 田村正人 [講師] 小西貴美江	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
7	業種別の経営と顧客満足1（ホテルのおもてなし）について学習する。		11月21日（金） [担当] 田村正人 [講師] 渡辺浩章	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
8	業種別の経営と顧客満足2（運輸のおもてなし）について学習する。		11月21日（金） [担当] 田村正人 [講師]	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
9	業種別の経営と顧客満足3（アミューズメントのおもてなし）について学習する。		11月28日（金） [担当] 田村正人 [講師] 加藤大空	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
10	業種別の経営と顧客満足4（観光のおもてなし）について学習する。		11月28日（金） [担当] 田村正人 [講師] 奥脇健臣	講義・演習	テーマについて予習復習をする	4
11	授業の振り返り グループ毎の成果発表準備		12月5日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	学習成果を整理する。	4

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

実践的授業の内容	ホスピタリティ産業でのさまざまな取組について、実務家による実践的な内容を分かりやすく学生が理解、考察ができるように授業を進める。
そ の 他	・授業で使用する資料は原則として Teams で配布する。連絡事項を含めて注意すること。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・講義の進行状況によってシラバス内容、授業回、特別講師等を変更することがあり得る。 ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 ・本授業は、オンライン（Teams 等）を活用した授業回があり得るので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。